

令和5年度咲くやこの花賞受賞者
《大衆芸能部門》

京山 幸太 [浪曲]

1994年（平成6年）5月生まれ（28歳）



[贈呈理由]

2022年に作家・町田康の時代小説「パンク侍、斬られて候」を浪曲化して高い評価を得ると、23年も町田とタッグを組み、従来の浪曲とは一味違う現代的な笑いの要素（ケレン）をちりばめた独創的な新作に挑戦。時代の匂いをかきながら、浪曲の新しいムーブメントを起こそうとする熱意とオリジナリティあふれる工夫は将来性を感じさせる。新作だけでなく、古典も力強さと勢いを増しており、芸の継承という観点からも関西浪曲界を担う存在としてさらなる飛躍が期待される。

[プロフィール]

2013年2代目京山幸枝若に師事。2014年5月国立文楽劇場にてデビュー。2015年1月「初夢で『見たよ、聞いたよ』浪花節」にてデビュー披露。関西の若手浪曲師として注目される。現在は古典浪曲から新作浪曲まで幅広く口演し、年間100公演以上の舞台に立つ。テレビ・ラジオ等、各種メディアへも出演中。2022年、文化庁芸術祭賞新人賞（大衆芸能部門）受賞。